

## 第2回 南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成26年12月24日(水)午後3時45分から午後4時45分
会場	南区役所4階 講堂
出席者	<p>南区自治協議会委員 14人・南区PTA連絡協議会2人 教育委員          沢野教育委員、吉村教育委員、伊藤教育委員          事務局          教育長、教育総務課長補佐、企画室長、施設課長、施設課長補佐、          教職員課課長補佐、生涯学習課長、青少年・地域と学校連携室長、          学校支援課長補佐3人、白根地区公民館長、          南区教育支援センター所長</p>
傍聴者	1名
議事	<p>1 開会          2 教育委員代表挨拶 沢野教育委員          3 出席者紹介          4 テーマについて          「地域と学校の連携について」 事務局説明          5 意見交換</p> <p><b>自治協委員</b>          南区は「特色ある区づくり予算」の中に、コミ協を単位として、一つの地域事業を学校と共催し、地域に愛着を持ってもらう事業に取り組んでいる。地域と学校の連携に大変力を入れている区だと思う。そして、大通地区では、精力的に動き、アイデアを出してくれる素晴らしい地域教育コーディネーターが地域や地元企業と学校をつないでいる。</p> <p>その中で、学校にお年寄りを招いて、戦争体験の話、映写会や昔遊びなど行い、老人会から協力いただいているが、「子育て中の親は何をしているのか」という声が聞かれることがある。</p> <p>お年寄りの方だけが参加する活動ではなく保護者からも積極的に参加してほしいと思っている。PTAなどから保護者にも声をかけてほしい。</p> <p>学校を応援するという取り組みすらわからない保護者もいるのではないかと思うので、お年寄りの方だけが参加する活動ではないことや、手が空いていれば積極的に参加してほしいことを伝えてもらいたい。</p> <p><b>教育委員会事務局</b>          子どもたちにとっては、いろいろな大人から認めてもらえる場が増えてきているとあってよい。          保護者の参加が少ないのではないかという指摘であるが、初めに人あり</p>

きではなく、「このパートナーシップ事業に手を貸していただけないか」と地域教育コーディネーターは働きかけているものと思う。

ボランティアを募る一番の方法は口コミ。ボランティアの魅力を口コミ、宣伝で広報していかなければならない。

昨年度から市内全小中学校中等教育学校でこの事業をスタートしたが、まだまだ、一般市民の認知度は低い。今年度の「ウェルカム参観日」を実施するなど、沢山の方々から学校の取り組みを理解いただくよう努めていきたい。

#### **教育委員**

P T A出身で今もかかわらせていただいているので、よく分かる。各学校の様子を聞くと口コミでボランティアへの声掛けをすることが多い。

P T Aの協力も必要かと思うが、コミ協とP T Aとの交流は図られているでしょうか。

#### **自治協委員**

コミ協理事として小中学校のP T A会長に入っている。地域教育コーディネーターもその一員。メンバーは意欲のある方が揃っており、一生懸命取り組んでいる。しかし、そのほかの方々が、そこまでの認識に至っていない。もっと声掛けして、すそ野が広がってほしいと思っている。

#### **自治協委員**

学校と地域をつなげるという事業で始まったが、先生が忙しすぎて授業が進まない状況が見受けられた。この事業でそこを助けられないかと思っていたが、今の先生方は少しは生徒と共に過ごす時間を取れるようになってきたのか。

#### **教育委員会事務局**

教職員の多忙化解消について、各学校から8つの視点で取り組んでもらっている。たとえばI C Tを通して事務的な作業を簡略化するなど、こどもと向き合う時間が少しずつ増えてきている。一朝一夕には解消できるものではないが、学校の現状をみながら、多忙化解消に努めていきたい。

#### **自治協委員**

根岸地区で防災訓練を行った時に、参加した小中学生が大変一生懸命にやってくれた。特に、うれしかったことは、いろいろなことを自分で発見してくれたこと、そして自分の言葉で語っていたことである。

また、子どもたちの自主的な動きもみられ、私たち大人もそこから学

習できたと思っている。

新潟市教育ビジョンには「夢や希望に向かい生き生きと学ぶ」姿とあるが教育現場の先生方には絶対忘れてもらいたくない。近頃、夢を語る先生、親、地域の人が少ないのではないかと思う。子どもには夢を持たせる、目標を持てば、子どもは自分から動くもの。

今回の防災訓練をきっかけにして地域で進めていきたい。学校では、先生がまず夢を語ることから始めてほしい。

#### **教育委員会事務局**

子どもたちに夢をとというお話は、その通りだと思う。

子どもたちが目を輝かせた防災訓練は、学ぶものが多かったのではと思う。教育委員会でも、教師がそのような目標を設定できるように研修を設けたり、子どもたちが自分たちから積極的に学べるような指導法について研究を進めたりしていきたい。

#### **自治協委員**

地域教育コーディネーターは一人では荷が重いのではないかと考えている。2人体制でやっていると良いと思う。

また、地域教育コーディネーターからは、実施したい事業が、授業日数、時間の関係や年間計画の作成時期からすぐに取り組めないと聞いている。

#### **教育委員会事務局**

市内に配置されている地域教育コーディネーターは275名に委嘱、実人数260人、15名が小中で兼務している。1校1～4名までである。それぞれの良さがあると思うが、大切なことは事業が停滞することなく進められていくことである。各学校には「地域と学校パートナーシップ事業推進会議」があるので、課題として話し合ってもらいたい。

学校の活動とコミ協、地域の活動はお互いにやりたいことをすりあわせ、計画段階から話し合うことが大切であると思う。

教育計画は、前年度末に立てられるので、その段階で1年間の見通しをもって協議いただき、地域教育コーディネーターがマッチングさせていけるようお願いしたい。

#### **自治協委員（意見）**

小林地区の状況をお伝えしたい。

今年度は、学校と地域の自主防災訓練を、学校を会場に行った。それとは別に防災授業も行っている。

老人クラブも遊びの指導、中学校でのミシン指導と精力的に行っている。

小林コミ協では学童クラブを運営しているが、そのスタッフが地域教

育コーディネーターとお互いに話し合い、協力して取り組んでいる。

#### **自治協委員**

「学・社・民の融合による教育」を否定するものではないが、地域教育コーディネーターが一生懸命やっっているが、PTAがあまり参加していないように思う。学校の事業の中にもう少しPTAが入っていかないといけないのではないかと思う。

地域とともにPTAが入ることで、活性化されるのではないか。

#### **南区PTA連合会**

PTA事業を行っても、なかなか保護者が集まらないということがあある。原因はいろいろあると思うが、うまく声掛けしたり、興味をひく内容を考えたりなど、保護者が参加するようにしていく必要がある。

#### **南区PTA連合会**

自分の知る範囲での声掛けをしているが、どう発展していくか、難しいことだが考えなければならない。PTA役員の任期や学校の職員異動など体制が変わると対応も変化する。

地域と学校とのつながりは、地域教育コーディネーターとともに、今後も口コミで進めていきたいと思う。

#### **事前質問への回答（教育委員会事務局説明）**

※ 教職員の資質向上について

※ 生徒指導、教職員の研修

#### **自治協委員（意見）**

教職員の資質向上が、子どもたちの学力向上につながる旨の意見を述べられた。

**6 自治協議会第2部会長挨拶**

**7 閉会**